

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市大山街道ふるさと館	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 川崎市大山街道ふるさと館共同運営事業体 代表団体 公財)川崎市生涯学習財団 代表者 理事長 金井 則夫 住所 中原区今井南町514-1 構成団体 NPO法人教育活動総合サポートセンター	評価者	総務課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	高津区役所総務課

2. 事業実績

利用実績	貸室利用者数30,697人、貸室利用件数1,545件、展示室利用者数8,335人
収支実績	収入総額26,067,652円(指定管理委託費23,959,548円、利用料金収入1,708,720円、雑収入399,384円) 支出総額25,576,454円
サービス向上の取組み	・館案内リーフレットをリニューアルし、区内外の公共機関に配布することで館の存在をアピールした。また、年間の取組内容をまとめた「ようこそ川崎市大山街道ふるさと館へ」を新規作成するとともに、月毎の取り組みを掲載している「ふるさと館だより」の情報量を倍増して発行する等、積極的な情報発信を行っている。 ・中庭へのベンチ・テーブルの設置等、館の快適な環境づくりを推進し、利用者の満足度の向上を図った。他にもエントランスへのタッチビジョンや太鼓幕の設置など区役所と連携した取り組みも積極的に行った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	施設の設置目的に沿った適切な運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	事業成果の測定	事業実施による成果の測定が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 「高津区民祭」への積極的な協力や「大山街道フェスタ」に合わせて「大山街道ふるさと館祭り」を継続開催するなど、地域の文化活動や施設の認知度向上に寄与していると認められる。市が実施した空調設備改修工事に伴う事務室の移転や一時休館の対応などを的確に行った。総合的な運営として、施設の設置目的に沿った取り組みが行われていると認められる。					
管理業務の実施状況	維持管理等	施設利用の提供に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	適正な料金徴収を行い、遺漏のない金銭管理を行っているか	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報公開を適切に行っているか	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	適切に職員を配置し、円滑なローテーションを行っているか	5	3(0.6)	3
	人材育成	業務に関する研修を行い、職員の資質の向上に努めているか	5	3(0.6)	3
	危機管理等	通常の安全管理や、緊急時を想定した計画・訓練などを行うとともに利用者のニーズの把握につとめ適切な対応を行っているか	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 一時休館の影響も考えられるが、貸室の利用件数がやや減少している。新たに設置したAEDについて、市の地図情報システムに掲載して周知を図るとともに、利用研修に職員を参加させるなど、安全管理への積極的な姿勢が確認できた。 その他、管理全般として事業計画に沿った適切な施設管理がなされている。					
事業実施状況	施設を活用したサービスの提供	市民に親しまれるふれあいと学習の場を提供しているか。	10	4(0.8)	8
		地域団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか			
	施設の利用に関する業務	利用者の立場に立ったサービス提供を行い、利便性の向上に努めているか	15	3(0.6)	9
		充実した広報活動等により、施設の利用促進が図られているか			
	大山街道についての資料の展示等に関する業務	郷土の理解を促進する、魅力ある企画展を提供しているか	15	3(0.6)	9
常設展示について、魅力ある展示の工夫につとめているか					
事業の開催に関する業務	郷土理解の促進に寄与する文化事業や市民のニーズに即した文化事業を行っているか	5	4(0.8)	4	
(評価の理由) 区役所の事業であるタッチビジョンの設置等、当初の事業計画にはなかった取り組みについても積極的に連携して行ったことで館のイメージアップにつながったことを評価したい。 貸室の利用件数が減少しているが、一方では1ヶ月半の一時休館にも関わらず展示室の利用者は増加している。利用者だけでなく各公共施設へのリーフレット配布を通じて館の存在を改めて周知したことやガラスウォールを活用した取り組みがこの結果につながった。 第3期からの新事業である大山街道サポーターズクラブについては、館のイニシアティブで地域団体と連携して推進し、次年度の設立に向け確実に準備を整えることができた。 小・中学生の子どもを対象とした事業に継続的に取り組むとともに、地域団体や学校からの依頼による講演会や寺子屋事業等に積極的に協力し地域の郷土理解の推進につながる活動で行っており評価できる。					

収支状況	安定性	適切な収支計画に基づき、安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	市民サービスの向上に努めながら、効率的な予算執行が図られているか	5	3(0.6)	3
	(評価の理由) 収入の範囲内で経費を支出しており、適正な予算執行がなされている。				

4. 総合評価

評価点合計	63	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点: 100点満点。評価ランク: 5段階評価

A: 80点以上 B: 70点以上80点未満 C: 60点以上70点未満 D: 40点以上60点未満 E: 40点未満

A: 特に優れている B: 優れている C: 適正である D: 改善が必要である E: 問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

空調設備改修工事に伴う一時休館等の当初想定しなかった事象にも的確に対応しながら、新たな基本方針や運営方針に則り適切に管理運営を行った。

昨年度に引き続き貸室の利用件数が減少しており、一時休館の影響も含めて検証が求められる。

その他全般については、第2期に取り組んだ経験を活かして管理面・事業面とも着実に事業執行している。

市民文化の向上や地域団体・文化団体との連携を基本として取り組みを進めていることは評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

初年度に取り組んだ実績を踏まえて、事業計画を着実に実行すること。様々な地域の団体との連携等により、新たな事業を展開できる可能性も多岐に渡ることから、大山街道に立地する強みを活かしながら、魅力ある事業を検討すること。

会議室等の運用に関しては、公平で平等な利用を確保しつつ、貸室利用件数の増加に向けて、設備の充実等、工夫と努力を怠らないこと。利用件数の低下の検証・分析を行い、その結果を稼働率の向上につなげること。施設の維持管理に関しては、利用者の快適利用や安全確保に留意すること。

引き続き、地域団体や文化団体等との連携を行い、市民文化の向上並びに大山街道及び周辺地域の振興に向けた取り組みを行うこと。